



新施設の建築予定場所の西栄寺駐車場を案内する吉田部長

「介護の総合施設」近く起工

立淨土真宗單
・西榮寺

だ。

訪問介護事業などを手掛ける浄土真宗単立・西栄寺（大阪市西淀川区）は、1階部分がデイサービスの事業所、2、3階は、1階部分がデイサービス付き高齢者向け住宅（サ高住）の「介護の総合施設」の建設準備を進めている。今年秋の開所を目指してお

高住〃14室設置 3階建て、今秋オープン

り、同寺の吉田敬一福祉部長は「超高齢化社会に向け、『お寺らしい介護』の在り方を模索していきたい」と語る。

する僧侶も常駐し、入介助などをするとともに、利用者の日々の悩みや苦しみに耳を傾ける。1階の機能訓練室の隣

同寺は昨年から宗教法人で訪問介護事業を運営し、昨年からは居宅支援介護・障害福祉サービス事業を始めた。新施設は鉄骨造り3階建てで延べ床面積は約864平方㍍。要介護・要支援認定を受けている人を対象とした「サ高住」には、トイレと洗面所を備えた約12畳の部屋を各

には内陣を設け、本尊阿弥陀如来を安置。プロ grammに朝の体操で、合わせて晨朝勤行や短い法話も行い、「お寺にや 参りするような気持ちで、デサービスに通つてしま しい」と願う。

「サ高住」の申請書類は大阪市の都市整備局に提出済みで、2月の中頃には起工式を行う予定

る中で少しでも『おはういに見えたら』と期待する。山田博泰住職は「宗教法人としてお寺が主体となって介護事業を運営することでお寺の特徴が出て、またそのことが社会貢献や地域貢献につつていけば」と願っています。(栗原順)

○小が雲田と教 とが守

専門スタッフに加え、
ホームヘルパー2級（現
初任者研修）の資格を有す
る僧侶も常駐し、入浴、
介助などをするとともに、
利用者の日々の悩みや
苦しみに耳を傾ける。
1階の機能訓練室の隣

吉田部長は「それは介護の範疇ではない」と言われるかもしれません。私たちも、利用者さんが、自分の家に訪問した時には必ずお仏壇の掃除をします。その時々に応じた対応が必要で、介護には答えがありません。新施設が建ち、利用者さんと接する